

# 議会だより



**[一般会計予算] 大型事業により過去最高…… 2**

**一般質問 町民の関心高く 傍聴26名…… 12**

**新しい町づくりへ 私の提案…… 21**

夢ふくらむ新入生81人(飯網中学校入学式)  
関連記事24p

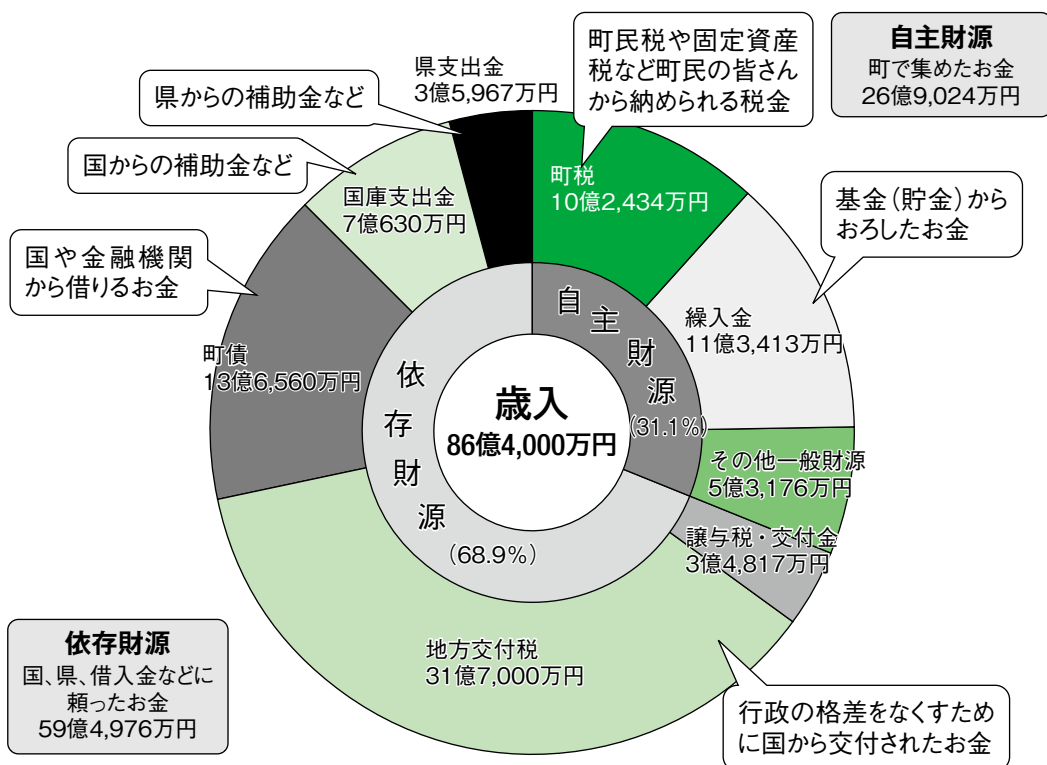
発行／長野県飯網町議会 編集／議会報編集調査特別委員会 発行責任者／清水 満  
〒389-1293 長野県上水内郡飯網町牟礼2795-1 TEL026-253-2511

平成31年3月31日現在 人口11,115人(98.6%)／男5,475人(99.0%)・女5,640人(98.3%)  
世帯4,187(100.0%) ※うち外国人世帯29(103.6%) ( )内は前年比率

# 86億4,000万円(前年度比12.6%増)

3月定例会は、3月1日から22日までの22日間の会期で開催された。  
町から提案のあった条例改正や補正予算、平成31年度一般会計予算、特別会計予算など33議案を審議し、すべて原案通り可決した。

一般会計の歳入歳出総額は、86億4,000万円となり、前年度に比べ9億7,000万円増(12.6%増)となった。



**歳入(収入)**  
自主財源の町税が約10億2,430万円、基金からの線入金が11億3,410万円、依存財源の地方交付税が31億7,000万円。

0万円、国庫支出金が7億6,300万円、合併特例事業債や臨時財政対策債などの町債を13億6,560万円計上。

前年度決算見込みに比べて7億7,301万円の増。  
平成31年度の町民1人当たりの地方債残高(見込み)は、一般会計で約69万円、一般会計、特別会計等の合計で約132万5千円。

## 地方債(町債)現在高の状況

### 町債(借金)と基金(貯金)の推移

(単位: 百万円)

項目	H27	H28	H29	H30	H31予算
一般会計小計	6,860	7,147	7,140	6,947	7,720
特別会計小計	9,183	8,566	8,210	7,600	7,089
合計	16,043	15,713	15,350	14,547	14,809

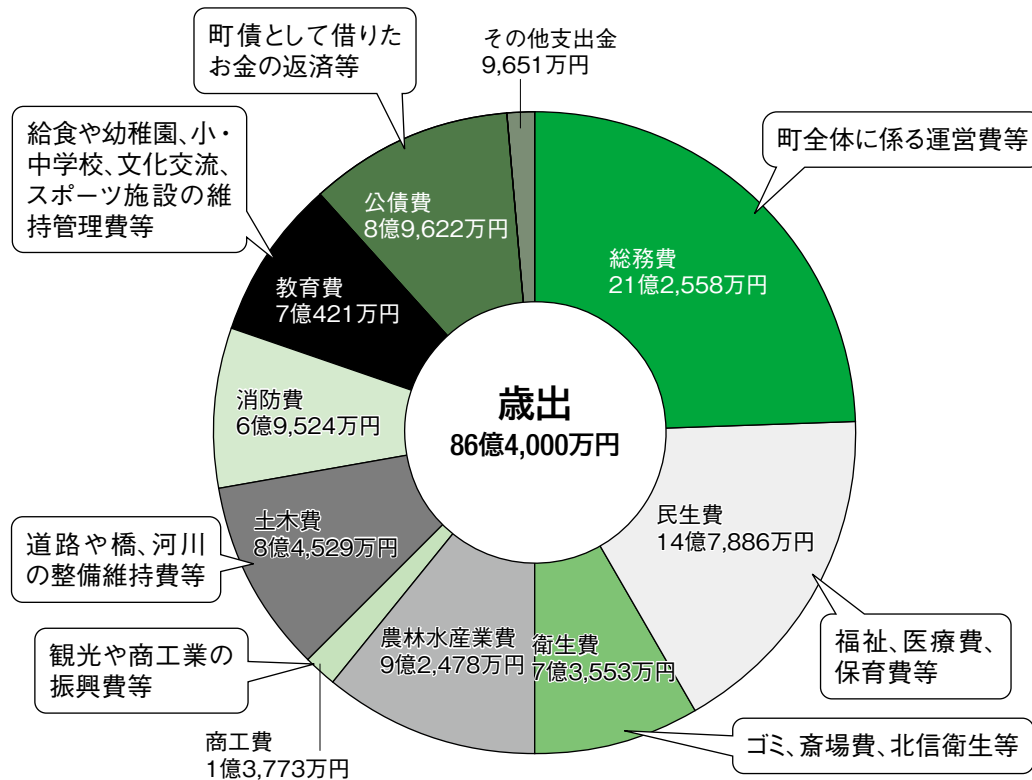
項目	H27	H28	H29	H30	H31予算
財政調整	1,883	1,848	1,706	1,415	752
減債	755	866	1,037	1,278	1,217
地域振興	1,037	998	969	917	874
その他	1,050	1,302	1,250	1,341	1,017
年度末残高	4,725	5,014	4,962	4,951	3,860
特別会計	454	484	508	524	501
総計	5,180	5,498	5,470	5,475	4,360

# 31年度予算

定例会

## 大型事業実施により過去最高 庁舎建設や防災行政無線デジタル化など

### 若者住宅建設、飯綱町版総合戦略事業の人口増対策にも力



**歳出 (支出)**  
第2次総合計画の「飯綱町らしいまちづくりに向けて」を実現するため、庁舎建設や地方創生事業の実施により総務費が12・2%の増、防災行

政無線デジタル化事業により  
消防費が91・5%の増、土木  
費が41・4%の増、農林水産  
業費が17・3%の増、公債費  
が10・4%増加で昨年より  
12・6%増加。

### 平成31年度 特別会計・企業会計当初予算

(単位：千円)

会計名	31年度予算額	30年度予算額
からまつの丘地区汚水処理場 管理事業	1,746	1,732
訪問看護ステーション	47,257	54,378
国民健康保険事業	1,358,819	1,344,916
後期高齢者医療	156,093	154,009
介護保険事業	1,253,163	1,189,567
農業集落排水事業	370,984	367,430
飯綱公共有水道事業	564,001	280,989
住宅地造成事業	2,700	2,200
<b>小計</b>	<b>3,754,763</b>	<b>3,405,938</b>
水道事業	633,578	576,889
病院事業	2,722,214	2,678,930
<b>小計</b>	<b>3,355,792</b>	<b>3,255,819</b>

#### 31年度 一般会計予算

**賛成討論—伊藤まゆみ**  
生活支援、子育て支援の充実、教育環境の整備など評価する。指定管理者へ東高原ゴルフ場の損失補償の算出根拠を明確にすべき。

**賛成討論—風間行男**  
31年度飯綱町一般会計、特別会計及び企業会計予算、庁舎建設、六次産業化、道路新設改良、小中学校にエアコン設置、町民の要望に応えた内容。よって賛成。

#### 31年度 後期高齢者医療特別会計予算

**反対討論—伊藤まゆみ**  
所得の少ない75歳以上の方を対象とした制度で、制度そのものに反対

**賛成討論—伊藤まゆみ**  
だ。軽減率の見直しにより、影響を受ける方への支援がない。



# 予算審査・主な質疑

重点施策

## 32～33年度の債務負担行為は8億8195万円

4.安全 25億9031万円	5.安心 16億1150万円	6.交流 4億4002万円
<ul style="list-style-type: none"> <li>● インフラ、公共施設</li> <li>● 安全対策</li> <li>● 行財政対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育て、子育て</li> <li>● 福祉 ● 健康</li> <li>● 公共交通</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域交流</li> <li>● 情報発信</li> <li>● 都市との交流</li> </ul>
主な事業	主な事業	主な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員研修費 265万円</li> <li>● 庁舎建設 5億4668万円</li> <li>● ふるさと納税 6105万円</li> <li>● 防災無線デジタル化 3億6391万円</li> <li>● 橋梁長寿命化修繕 1500万円</li> <li>● 地方道改修 2億1500万円</li> <li>● 福井団地簡易郵便局外壁補修 110万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● iバスへのくるるiカード導入 1093万円</li> <li>● しなの鉄道車両と枕木更新の負担金 1251万円</li> <li>● 町内拠点間巡回バス等構築検討及び実証実験 900万円</li> <li>● 予防接種（インフルエンザ・おたふく一部助成） 3447万円</li> <li>● もっと自分らしく輝くiママ事業 2734万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● しごとの創業・交流拠点整備（旧三水第2小） 1億1124万円</li> <li>● 廃校を活用した地域住民交流促進（旧牟礼西小） 1億4084万円</li> <li>● 原田地区公有財産購入 1億6872万円</li> <li>● 健康スポーツエリア整備費 1998万円</li> <li>● 都市部住民や企業等を対象としたヘルスツーリズム等の構築及び実証実験 1700万円</li> </ul>
 <p style="text-align: center;">鳥居新橋</p>	 <p style="text-align: center;">iバス</p>	 <p style="text-align: center;">牟礼西小グラウンド</p>
関連質疑	関連質疑	関連質疑
<p><b>Q</b> 橋梁修繕の実設計費が約1500万円とのことだが、3橋分と考えてよいか。</p> <p><b>A</b> 3橋分を見込んでいます。鳥居新橋がかなりの金額になりそうなので先行して入札し、その後に2橋と考えている。</p>	<p><b>意見</b> iバスは導入当時に全国的に注目を浴びた事業。さらに進化したiバス事業にしてほしい。</p>	<p><b>Q</b> 廃校を活用した地域住民交流事業で、グラウンドの整備後は町民優先の利用になるのか。</p> <p><b>A</b> パルセイロさんとの協定もあるので調整が必要となるが、工夫して有効に活用したい。</p>

# 平成31年度重点事業

## 今年度、庁舎建設事業に5億4668万円

重点施策

1.自然 2億6688万円	2.学ぶ 6億9792万円	3.創出 6億1987万円
<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然を守る</li> <li>●自然に親しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育</li> <li>●スポーツ、芸術、文化</li> <li>●自ら学び自己を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農業</li> <li>●商工業</li> <li>●観光</li> </ul>
主な事業	主な事業	主な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然の中の暮らし魅力想像発信(旧牟礼西小拠点整備) 1億923万円</li> <li>●公害対策 470万円</li> <li>●生ごみ処理器等購入補助、可燃ごみ収集運搬業務 559万円</li> <li>●長野広域ごみ処理計画に基づく施設建設負担金 3971万円</li> <li>●不法投棄対策 120万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●牟礼小学校駐車場整備工事 2251万円</li> <li>●ふれあいパークマレットゴルフ場整備工事 1888万円</li> <li>●町民会館(エアコン入れ替え、トイレ改修等) 1991万円</li> <li>●中学校開放施設管理運営図書館、書籍代 120万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域農業担い手育成支援 1610万円</li> <li>●農作物有害鳥獣対策 1338万円</li> <li>●信州大学、長野大学と連携した機能性食品等開発 216万円</li> <li>●農業拠点施設整備(三本松) 1億4093万円</li> <li>●プレミアム商品券発行 1200万円</li> <li>●東高原ゾーン整備事業 4236万円</li> </ul>
 <p>ぼかし容器兼水きりバケツ</p>	 <p>マレットゴルフ場予定地</p>	 <p>三本松直売所予定地</p>
関連質疑	関連質疑	関連質疑
<p><b>Q</b> 水きりバケツとはどういうものか。購入した場合に補助ということがあるか。</p> <p><b>A</b> バケツに水切り網がついたもの。水切りネットでも対応できると思うが、水を切るために購入した場合、補助をする。</p>	<p><b>Q</b> マレットゴルフ場整備工事について、新設されるマレットゴルフ場は湿地を避けて作るのか。</p> <p><b>A</b> 一部に湿地はあるが、整備することによりコースとする予定。</p>	<p><b>Q</b> 世界に誇る力強い産業形成事業における補償金945万円の詳細は。</p> <p><b>A</b> 三本松への直売所建設計画において、地権者が所有しているリンゴや桃の立木補償料である。</p>

# 予算審査

## 庁舎建設、三本松への直売所建設 町道新設改良費の増など住民要望実現へ

### 総務費

#### 交通共済公費負担 70歳以上へも拡大へ

**質問** 交通災害共済推進事業で、公費加入対象者の拡大の理由は。

**回答** 見舞金を申請する方の傾向が、若者層から高齢者層に変化していることと、近隣自治体の高齢者等への公費負担が増えているため。

#### 庁舎建設14億円の理由

**質問** 従来10億円であったことであった。総額で14億円程度と説明があったが、増えた理由は何か。

**回答** 10億円は、目標金額。来年の東京オリンピックを前に、建設単価が上がっている。福祉センターの解体、庁舎とその周りの外構、車庫等を含め11億円強の見込み。他に建物等の補償や上下水道の布設替え、宿直室の仮設など。新エネルギーの利用では、地中熱を予定している。

### 予算審査

#### しなの鉄道イベント列車 町外の方も対象に

**質問** しなの鉄道のイベント列車は、町民対象だが、交流人口を増やすため、町外の人も対象にしたらどうか。

**回答** 今後は、申込みの状況を見ながら検討したい。

#### しなの鉄道車両更新に 負担金

**質問** 8年間で何台の車両を買うのか。町の負担率は。

**回答** 52車両を購入予定。購入費は約100億円、5・2%の負担。

#### iバス事業の見通しは

**質問** 利用者は増えているか。

**回答** 高齢者の免許保有率が高まっているため、利用者は減っている。

**質問** 利用率を高めるための方策を考えているか。

**回答** 3月末まで1回200円に乗ってもらえる実証実験をしており、結果を見て今後の方向性を出していきたい。

#### 貨客混載の状況は

**質問** 現状と今後の取組は。

#### 買物代行の取組は

**質問** 買物代行の現状と今後の取組は。

**回答** 組織が難しく、他町村を参考できないかと考えている。10年20年を見越して仕組みを作りたい。

### 農林水産業費

#### 信大いちごの見通しは

**質問** 信大と連携し実証中の夏秋いちごは、一般農家も参画していく見通しは。

**回答** 収量のデータ分析を行い、その後農家へ提示していく。

**質問** 農家への普及時は、補助を考えているか。

**回答** いちごの苗を供給している民間企業が、町に拠点を置きたいとの意向もある。実証実験の結果を踏まえ検討したい。

### 商工費

#### 東高原ゴルフ場の 損失補償額再考を

**質問** 27年度からの平均ではないのか。

**回答** オーガニックリゾートとの交渉の結果であるが、決算数値確定後に再考したい。

#### ノルディック HALF MARATHON 国際大会実施へ

**質問** 日本初の国際大会だが、宿泊施設は足りるのか。

**回答** ペンションと富士通



▲1日30パックの収穫(いちご実証実験)



総合センターで、宿泊パックを考えている。

どれほどの規模になるかは、予測がつかない。

### プレミアム商品券 実施を

**質問** 一般へも拡大することだが、詳細は。

**回答** 国の施策で行われると低所得者と子育て世帯50000円の商品券を40000円で一世帯5セットを900世帯分予定。一般は、60000円の商品券を50000円で一世帯5セットを1100世帯分予定。

### 土木費

#### 3橋梁を改修へ

**質問** 改修する橋梁はどこか。

**回答** 3年かけて橋の点検はすべて終了。早めに改修すべき橋は、8、9橋。予算の3橋は、役場前の鳥居大橋、三水庁舎に入る斑尾大橋、西黒川の丸山橋。

### 原材料支給事業 いつまで

**質問** 事業が終わる目安は、いつまでか。

**回答** 三水地区では、農道なども舗装の箇所が多く残っており、当分は継続の必要がある。

### 民生費

#### 透析患者に通院費助成

**質問** 申請方法と対象者数は。

**答弁** 申請書類による申請が必要で、支払いは8月、12月、3月。対象者は、市町村民税非課税世帯で11人程度を見込んでいる。

**質問** 交付金額は。

**回答** 公共交通機関や家用車等に要した経費の50%。

#### 子育て支援センターは 町外者も受け入れへ

**質問** 子育て支援センターは、広域で利用するという考えか。

**答弁** 町外者の利用も受け入れたい。

### どうなる保育園の 給食費

**質問** 給食費と時間外保育料無料化の予定は。

**回答** 保育料は、3歳以上児が無償化になる。今までは、保育料に副食費が含まれていたため、それも無料にするかは、これから検討する。

時間外保育料もこれから検討する。



▲保育料無償化 給食費は？

### 衛生費

#### インフルエンザ 予防接種対象者拡大

**質問** 拡大される対象者は。

**回答** ワクチン単価と対象人数は、接種率75%と想定し1100人を見込んでいる。ワクチンの単価は4500円程度と想定し、一人1回自己負担1000円とし、残り補助する。

#### 資源ごみの流れの 周知を

**質問** 分別した資源ごみの処理の流れを、町民に知らせてほしい。

**回答** 衛生組合長会では、資料として説明している。町民にも周知したい。

**意見** 分別へのモチベーションにつながる。流れが見えることは大事だ。

#### 不法投棄パトロール をシルバー委託へ

**質問** 不法投棄パトロール費用の内容は。

**回答** 今までは監視員からの通報で、町で回収してい

た。シルバー委託にすることで、回収までやっていただくことを想定している。

### 教育費

#### 通学路に防犯カメラを設置

**質問** 設置により、住民のプライバシーが侵害される恐れはないか。

**回答** 録画データの利用は、人命の危険にかかわる時のみとするよう規定し、プライバシーの侵害がないよう運用する。

#### 給食調理員の待遇は

**質問** 町の調理員は、野菜を手で切るなど、他市町村より作業がかなり大変だ。近隣市町村と比べ賃金はどうか。

**回答** 毎年、賃金の見直しを行い段階的に引き上げている。信濃町よりは高いが、長野市よりは安いので、長野市に近づきたい。

補正予算

庁舎建設事業  
次年度へ  
3億3560万円

30年度一般会計補正予算  
(第8号) 可決

ふるさと応援基金の計画未達成などにより、既定の予算を3億6581万円減額し、総額78億4530万円とするもの。

主な補正内容

債務負担行為 補正

庁舎建設事業を31年度に送ることにより廃止

歳出

庁舎建設事業工事の請負費

▲3億3560・6万円  
ふるさと応援基金積立金

▲2800万円

小・中学校の情報システム費  
Wifi不認可による教育費の減額

▲1990・5万円

小・中学校キュービクル等の交換

4418・1万円

請願・陳情

請願第2号

75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対する意見書採択についての請願—不採択

75歳以上の医療費窓口負担を、1割から2割への議論が経済財政諮問会議(内閣府)、財政制度審議会(財務省)及び社会保障審議会(厚労省)で行われており、老人クラブや医療関係団体から慎重な意見が相次いでいる。高齢者の生活と健康に大きな影響を及ぼすとして、国に意見書提出を求めるもの。

賛成討論—大川 憲明

町の後期高齢者は、2月末2178名で1割負担が2110名である。この方々のために制度を守るべきだ。

反対討論—青山 弘

財源不足を国債の発行で補うのは、将来世代への「つけ」一回し。世代間の負担の公平については、現役世代が不公平感を強く訴えている。

賛成討論—渡邊 千賀雄

高齢者の27%が貧困状態。誰もが高齢者となり、老後の現実を考えると、負担は低く安定した医療を受けられるよう賛成。

反対討論—目須田 修

国の財政は問題があるが、医療保険制度を維持していくには皆が少しずつ努力していくべき。自己の健康管理に加え、医療を受ける側の少々の負担は必要。

賛成討論—伊藤 まゆみ

窓口負担の増は、受診抑制につながり重篤化し、医療費が増える。国は、文化的で最低限度の生活を保障すべきだ。

常任委員会での審査

質問 後期高齢者医療制度を維持していくには、どうしたら良いか。

回答 年金だけの所得に頼っている方々は、日々の生活に困窮している状況だ。国民健康保険との関連と税制上の仕組みを変えるか、国庫負担金を増やすか、税の用途の配分割合を変えるしかないのではないか。



▲診察を待つ人たち(電子カルテが導入された飯綱病院)

陳情第2号

奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情 — 不採択

反対討論—荒川 詔夫

放置林の皆伐により、灌木・笹・つるが繁茂する。

反対討論—目須田 修

国が、推進してきた針葉樹主体の政策は、本来森づくりとは異なる。また、反対意見のデータにも間違いがあり議論不足よって、審議の継続を求める。

常任委員会での討論

反対討論

次の理由から反対する。  
①皆伐ではなく、間伐をする事で、針葉樹の根茎を成長させ、災害防止となる。  
②下層植生のない林は、皆伐により土砂崩落の危険が増す。



陳情

陳情第3号

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願  
常任委員会では不採択も 本会議では採択

最低賃金は、最も高い東京と最も低い地方との差が224円で、労働力の地方からの流出を招き地方経済を疲弊させている。

中小企業への助成や融資、仕事おこしや単価改善につながる施策を拡充すると同時に最低賃金を改善することとは、景気刺激策として有効とし、国に意見書の提出を求めるもの。

本会議での討論

賛成討論―原田重美

低所得世帯の生活保障は不十分。地方の人口減少は、中央との賃金格差拡大で若者が地方に定着しないことも一つの背景。陳情の趣旨は妥当。

反対討論―風間行男

最低賃金全国一律1000円は零細企業の

死活問題。大企業の正規社員の拡大、賃上げしやすい環境を整えるべき。

賛成討論―渡邊千賀雄

日本経済の根本を支援、経済を立て直す方法。道であり、当議会で昨年の3月議会で同様の陳情・意見書を採択している。

反対討論―原田幸長

最低賃金は、最低賃金審議会で決定され、長野県は改定前より18円増の746円。今すぐ1000円以上に引き上げることは性急である。

賛成討論―荒川詔夫

最賃引上げは、多くの労働者の処遇改善につながり、消費拡大による経済好循環が期待できる。併せて、中小企業支援拡大を求めている。

反対討論―瀧野良枝

賃金改善の趣旨には同意。中小企業への支援策が不明確。「即時に一律1000円に値上げ」は地方の企業経営圧迫の事態を招きかねない。

賛成討論―目須田修

中小及び零細企業の労働力は安定した状況になく、東南アジアからの人材は限られてきている。最低賃金の改善は労働力不足の解消策として必要。

常任委員会での審査

質問 中小企業とは、どの範囲を指しているか。

回答 中小零細企業、個人自営業者までと考えている。

質問 中小零細企業では最低賃金821円が限界で、それを上げると経営できないのではないか。

回答 フランスの例では、社会保障費の事業主負担の軽減。16%の最低賃金の引上げを行った韓国では、中小企業向けの人件費の直接支援。アメリカでは、中小

企業への減税を行った。このような措置を、セツトで求めているかなければならない。  
常任委員会での討論

反対討論

全国一律となれば、生活格差もある中で中小企業や農家の臨時季節雇用主にとって時給1000円は大変。したがって、全国一律ではなく、生活圏にあった時間給にしたい。よって今回の陳情には反対である。

賛成討論

労働力が地方から流出し、都市部で若者人口が増加しているのは最低賃金が高い都府県である。外国人労働者も高い賃金と仕事を都市部に求め、地方から出て行ってしまう。地域間格差の是正と最低賃金の引き上げが必要。政府が言うように3%ずつ引き上げていくことが妥当であり、政治的決断で労働環境改善と地域経済の向上を目指すべきである。



▲中小企業の支援策と同時進行で最低賃金の改善を

3月定例会 議案に対する各議員の賛否結果 (○ 賛成 ● 反対 欠 欠席) [関連記事23p]

種別	議案名	表決結果	清水均	風間行男	中島和子	目須田修	瀧野良枝	原田幸長	石川信雄	荒川詔夫	伊藤まゆみ	青山弘	樋口功	渡邊千賀雄	原田重美	大川憲明	清水満
議案	北部衛生施設組合規約の変更について(ごみ処理業務終了のため)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	新町建設計画の変更について(合併特例債の発行期限再延長のため、計画の期間を37年度まで延長)	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	飯綱町牟礼駅前広場条例(新しく整備したため)	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	飯綱町駐車場条例の一部を改正する条例(一部有料駐車場整備したため)	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	飯綱町国民健康保険税条例の一部を改正する条例(上限額を3万円引上げ、61万円に軽減を拡大する)	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	飯綱町社会体育等施設条例の一部を改正する条例(旧牟礼西小、旧三水第二小のグラウンドを外す)	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	飯綱町給水条例の一部を改正する条例(水道事業の工事監督者及び水道技術者に関する規定を加える)	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度飯綱町一般会計補正予算(第8号)(3億6581万円の減、庁舎建設工事を31年度としたため、など)	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度飯綱町からまつの丘地区汚水処理場管理事業特別会計補正予算(第1号)(汚水処理施設管理費削減のため)	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度飯綱町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(広域連合納付金増)	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○
	飯綱町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)(保険給付費増のため)	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度飯綱町一般会計予算	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度飯綱町農業集落排水事業特別会計予算	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	飯綱町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例(地域おこし協力隊員、地域支援員の報酬の見直し)	可決	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事変更請負契約の締結について(多世代交流施設(深沢)の汚染土撤出に伴う購入土埋め戻し工事の増工)	可決	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
工事請負契約の締結について(小・中学校へのエアコン設置)	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(任期満了となる委員の再任に同意)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対する意見書採択についての請願	不採択	欠	○	●	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	
陳情	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	採択	欠	●	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○	
発議	飯綱町議会会議規則の一部を改正する規則案	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地域からの経済好循環の実現に向け最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書案	可決	欠	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛否結果

予算・政策要望

# 住民サービスの向上へ

～議会要望(10月5日提出)に対する回答から～

## 31年度予算に関連する主な新規事業

### 環境保全

【要望】美しい田園・里山風景を守るため、町独自の景観条例を制定すること

☞【回答】景観計画の策定を予定

### 公共交通

【提言】利用者満足度の高い町内バス運行、維持存続を図ること

☞【回答】長野市と連携したアイバスへのICバスカード(くるる)を導入

### 農業振興

【要望】援農組織の充実、強化を図ること

☞【回答】援農組織への補助金増額、農業講習への補助

【要望】新規就農者への積極的な支援をすること

☞【回答】新規就農PR冊子の作成、就農相談への参加費

☞【回答】認定農業者等の子弟が後継者として就農した際の補助

【要望】六次産業化推進の実践的な事業実施、加工施設・既存直売所の機能を向上させること

☞【回答】中核的直売所の整備、フルーツ加工施設の設計、農畜産物をインターネットにより国内外へ直販するシステムの構築

【要望】道路および農地、周辺の障害樹、雑草駆除対策を進めること

☞【回答】支障木の伐採補助

### 健康・福祉

【要望】インフルエンザ予防接種への補助を検討すること

☞【回答】18歳までの子どもの接種を一部助成

飯綱町議会では、毎年予算編成にあたって分野毎の「予算・政策要望書」を提出し、行政に回答を求めています。

今後も、効率的で時代に即した予算編成を行政に求めるとともに、住民要望を実行するための予算要望をしていきます。





# 町民の関心高く 傍聴26名

一般質問

## 原田 幸長議員

- 1 防災・減災対策は
- 2 空き家対策は
- 3 終活支援を

## 渡邊 千賀雄議員

- 1 芋川日向地籍の産廃処分場問題について
- 2 水道事業の今後は
- 3 児童虐待問題は

## 原田 重美議員

- 1 農業の6次産業化拡大について
- 2 中枢中核都市構想と飯綱町のあり方は

## 伊藤まゆみ議員

- 1 ネオニコチノイド系農薬不使用の作物栽培を
- 2 認知症のケアに「ユマニチュード」の普及を
- 3 骨髄バンク登録に支援を

## 青山 弘議員

- 1 企業会計の課題について
- 2 飯綱町まちづくり計画の変更についての疑問

## 清水 均議員

- 1 人口減少時代の“幸せ”な地域づくりを
- 2 三本松農産物直売所の運営方針は
- 3 天狗の館の利用者増加策及び観光施設の利活用について

## 風間 行男議員

観光施設の指定管理について

## 瀧野 良枝議員

- 1 公共施設のマネジメント計画は
- 2 財源確保の方策は

- 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。

## 傍聴席



川口 敏三さん  
(小玉)

今回、区への傍聴案内を受け、一般質問初日の3名様は、質問を聞いて感じたことは、時折配布されるビラにあるような、現実離れした意見の押し付けがなく、直面している問題に素直に向き合っていることが伝わり好感が持てた。

まず、防災は日ごろの訓練が大事だが、この訓練があつたが、当区でも今年には自主防災会の班活動を一歩前進させようと考えている。

次に、急速に進む少子高齢化対策では、空き家問題と絡めて移住希望者への賃貸化の検討がされていたが、雑誌の記事でも今後15年で空き家率は3割に達すると警鐘がされており、人口の増減は地

## 人口増対策 大胆な政策を望む

方交付税に直結するわけだから、行政として大胆な政策の導入を他町村に先んじて打っていただくよう望むところだ。

長野市が松本市と共に中核都市の指定を受けたことにより、隣町としての施策として、連携強化や農業の6次化・道の駅構想に後押ししたい感情が芽生えた。

最後に、公共施設の維持管理問題で対象施設が100を超え、削減を考えているようだったが、しなの鉄道上の水路橋は設置時のことを考えれば公共として考えられないのだが、維持管理に受益者負担は町民感情としていかなものか。

# 防災・減災

## 町政の柱にとの考えは

### 町長 地域での認識教育が大事な時代

**原田** 平成30年は全国各地地震・豪雨・台風・猛暑等の自然災害が多発した。先備の策をとることが課題と考えるが。

**町長** 地域防災計画があり、それに基づき職員の初動、招集、警戒本部、災害対策本部等のシステムが定められている。

**原田** 災害事例では普段からの隣近所の間関係、地域の絆を作る教訓を得た。自主防災計画や自主防災組織が、絵に描いた餅にならないようにすべき。



原田 幸長議員

**町長** 防災は非常に広範囲の対応を必要とする。地域としての認識、教育、普及PRは大事な時代になっている。

**原田** 行政でできることには、限界があることをはっきりさせ、伝えることにより災害を我がごとででき、真剣に向き合える一因になると考えるが。

**町長** 災害が起きた場合には、まず自身の安全確保、ご家族、地域の方々との順に行動がとれることを、体に沁み込ませる教育と訓練が大事。

**原田** 防災減災が町政の柱の一つにならなければと考へ、本気の防災教育・訓練が重要である。取組状況は、**総務課長** 9月に自主総合防災訓練、区長・組長会議で講習会、学校関係・保育園では、避難訓練を実施。

中学校では総合的な学習で防災教育に取り組んでいる。



▲平成31年2月15日付信濃毎日新聞報道記事

### 空き家対策は

**原田** 空き家所有者と入居希望者のマッチングをするには、契約の部分が一番大事になる。不動産会社との連携等は取られているか。  
**企画課長** 楽園信州や町の空き家バンクだけでは情報量が少なく、町内の不動産会社を紹介し、ニーズに合った物件情報の提供をし

ている。

**原田** 空き家所有者と移住希望者の契約が成立した場合、不動産会社への手数料を町が補助する考えは。

**町長** 今の制度の中では難しい。人口増は大きな目標としているが、手数料がどの程度障害になっているのかまだつかんでいない。今後の検討材料としたい。

**原田** 長野市では「空き家対策」ひと事じゃない空き家の話」として冊子を発行した。このようなものを参考に空き家対策に役立てる考えは。

**企画課長** 県の空き家対策支援協議会でもパンフレットを作成しており、これと固定資産税の納税通知書と一緒に郵送できないか検討していく。

### 終活支援を

**原田** エンディングノートは忘備録的な内容を書き残しておくノートだが、自分の人生をしっかりと歩んでいくためにも、活用していく考えは。

**保健福祉課長** 社協で現在、老いの支度と健康寿命講座を開催しており、この中でエンディングノートの活用を推進している。

**原田** 長野市では敬老祝事業として高齢者写真撮影事業を展開している。町でも記念撮影の推進を図るべきと考えるが。

**町長** 写真というのも非常に面白いというイメージは持っている。今年度からというわけにはいかないが、大いに参考にしていきたい。



▲長野市建築水道課で発行された冊子「空き家対策～ひと事じゃない空き家の話～」

# 食文化発信の 魅力的農産物直売所を



原田 重美議員

## 町長 所得向上でき客も楽しめる農村公園に



▲6次化目指し農村公園が計画される三本松周辺

### 一般質問

**原田** 三本松周辺に新たな農産物直売所建設の全体構想は。

**町長** 全体を農村公園として直売所、桃やリンゴの加工所、観光農園などを配し、さらに国、県の支援で道の駅指定を目指す。

**産業観光課長** 全体の敷地は8323㎡。第一期の農産物直売所は新年度1億4000万円で平成32年4月オープン予定。地元や長野市住民の日常の買物、景観を楽しめる場所になりたい。

**多彩な商品で  
通年営業を**

**産業観光課長** 基本的に一つの法人で連携して運営していく方向。農家レストランも現在地で運営するため、より良い事業のあり方を丁寧に検討したい。

**原田** 各種団体が構成するまちづくり協議会（仮称）ができるが、新会社に改組して直売場などを経営するふるさと振興公社の負担が大きくないか。また、まちづくり会社の事業内容は脆弱で心配だ。

**原田** 通年でおいしく、安全、多彩に魅力的な食文化を発信できる施設にしなければならぬ。JAの参画で小規模、高齢農家の野菜類生産に力を入れ、雪中農産物も工夫してほしい。

**産業観光課長** 提案のような地場野菜、女性による少量多品目栽培、高齢者の生き甲斐農業など所得向上できるシステムを考えたい。JAには技術指導、担い手育成に参画してもらい、雪室の有効活用などおいしい商品を開発したい。

**既存直売所は  
共存するのか**

**町長** 農業6次化のための買物、交流などのストーリーを描いた総合商社的な会社がベターだが、まちづくり協議会で密に連携しようとの提案だ。町が指導力を持ち、どんな形態で強い会社にするか検討していく。

**原田** スキー場会社との連携はできないか。

**町長** 資金、人脈などを持っている会社であり、いざれ時を見て協議したいと思っている。

**原田** 景観を活かそう。この際、電柱撤去の考えは。

**町長** ご指摘の通り優れた景観、文化を活かしたい。電柱は支障にならない場所への迂回策を中電と協議し始めている。

**原田** 新時代農業の「飯綱戦略」の確立へ検討会議を早期、積極的に進めてほしい。

**町長** 提案を受け、より良い農村公園を目指す。

### 中枢中核都市 町も効果期待

**原田** 地方の人口減少、活力減退に対して国は新たに

地域経済や住民生活を支える拠点として長野市など全国82市を中枢中核都市に選定し、周辺地域を含めて財政支援をするという。人口減に歯止めをかけたい町としてどのよう受け止めるか。

**町長** 国の新構想は長野市などの都市機能の向上を目指している。官庁の移転、大学設置、企業誘致などで飯綱町の子どもたちが地方に住み続けられる好影響を期待する。

すでに進んでいる長野市との連携中枢都市圏事業をさらに密にし、新しい都市構想にも積極的に意見を出したい。



▲広域連携のICカードで低料金バスが人気



# 水道料

## 10月に料金の値上げをするか？

### 町長 増税分は上げる 料金は上げない

**青山** 水道事業は、一般会計からの繰出しにより成り立っている。本年10月に消費税が上がる予定だが、これに併せ料金改定を考えているか。また、三水と牟礼に水道会計を分けているが統一できないか。

**町長** 料金は、消費税の上がる分は上げるが、値上げを今年度はしない。水道会計の統一については、費用が1000万円ほどかかるがやっていきたい。

### 医師不足は解消の方向

**青山** 飯綱病院については、医師不足が課題であると決算審査意見書の中で、監査委員に指摘されている。医師不足は解消されたか。

**事務長** 問い合わせはあったが、先生の希望条件に合わなくて採用に結びつかなかった。その後、非常勤の先生だが、着任していただくことになり4月1日から週に3〜4日診療していた

だけのことになった。

た。

**青山** 病院の事業会計は、昨年に比べてどんな状況か。  
**事務長** 1月末での決算見込みであるが、赤字になっている。

### 「まちづくり計画」の疑問

**青山** まちづくり計画は、現在進行中の「第2次総合計画」と「飯綱町まちづくり計

画 新町建設計画」の2つあって分りにくい。この計画の違いは何か。

**企画課長**

「第2次飯綱町総合計画」は、基本構想基本計画及び実施計画で構成され、本計画を基に、個別事業について、詳細な計画を立案・実施することにより理念の現に向けたまちづくりを進めるためのものだ。

「まちづくり計画」は、この計画に記載されている施策のみが合併特例債を発行できる事業の対象とされている。

**青山** 実施計画は、向こう3年分の主要施策・個別施策及び財政見通しを作り、毎年12月にホームページで公表していたが、29年から載せられていない。なぜか。  
**総務課長** 29年は町長選挙が予定されており、首長が決まる前に実施計画を策定



▲今回質問のまちづくり計画関連の資料

するのは現実的でないことから、策定時期をずらしたことで、そのままとなった。  
**青山** 合併特例債を使える限度額は約48億円。今年度末までに36億5000万円を使う予定となっている。来年度の予算で3億9000万円使う予定だが、庁舎建設にあと、どのくらい合併特例債を使う予定か。  
**総務課長** 予算ベースでは、庁舎建設に合併特例債を使う予定にしている。32年から33年にかけて6億4250万円を使う計画をしている。



青山 弘議員



▲飯綱町住民の【地域 医療の砦】



風間 行男議員

# 別荘管理委託料の見直しは

## 町長 32年度以降検討したい



▲別荘管理

**風間** 別荘管理委託料、積算根拠は妥当か。

**町長** 今の指定管理が終わってから検討する。

**風間** 飯綱東高原、管理棟、いこいの森、山村広場の管理委託基準額を示しての募集は競争性もなく、予算の効率化、公平性、透明性の確保が困難である。見直しを。

**町長** 仕様書を設けて検討し、良くなるようにしたい。32年4月から新しい契約を検討し対応する。

**風間** 別荘内の管理状況調査を町は行っているか。

**産業観光課長** 町は4半期ごとに報告を受け書類の調査を行っている。町として良好な管理ができるよう、指定管理者に強く指示していく。

### アジサイ園の管理は適正か

**風間** アジサイの株の根元に枯れた枝がある。草刈り、株の手入れがされているのか。

**産業観光課長** 指定管理者に管理を徹底していく。

**風間** 3年間で3500本植樹したが何本が枯れたか。今年度の植樹では70%が枯れている。誰が検査したのか。

**産業観光課長** 町民の方に植樹してもらっているが、活着が悪い所が散見され何が影響しているか、大きな課題と受け止めている。

**風間** 10年間で2万本を目標としているが、土壌の不向きや水不足、管理不足で多くの苗が枯れている。費用対効果が出る管理運営が求められている植樹、管理は造園業者に、草刈等は知



▲ボランティアによるアジサイの花摘み

識のある方と契約しては。

**町長** プロジェクトの中できちんとした事業内容のものにしていく。管理費が高くなっても結果は出ると考えられる。

造園業者に管理委託することも検討する。

**風間** 平成27年4月から指定管理期間が5年に延長されたが、更に延長することで指定管理者自ら備品を購入し、計画的な運営が可能ではないか。

**町長** 町民のいこいの場を10年契約にしたとき、町の思い通りのサービス提供ができるか、儲け本位にな

らないか懸念がある。双方に利益があるように考えた

**風間** 施設修繕費20万円を基準としているが、経年劣化だけではなく、指定管理者による管理不足が見える。基準額の引き上げはできないか。

**町長** 適当な額と考えているが、研究したい。

### 東高原ゴルフ場 中途解約

**風間** 指定管理者からの納付金が少ないのではないかと算出基準は。

**産業観光課長** 温泉、ゴルフ場、観光施設で割合率を出してゴルフ場分を計算している。

**風間** 指定管理者等中途解約損失金の算出根拠は今までの利益実績平均額とのことだが、今年度納付金から考えても高すぎるのではないか。

**町長** 10年の平均が1000万から1350万程度で総務費は引いていない。単純なゴルフ場経費を引いた利益である。



# 産廃処分場 計画

## 経緯を踏まえ受け入れ 反対し対応を 町長 町として処分場の必要性ない

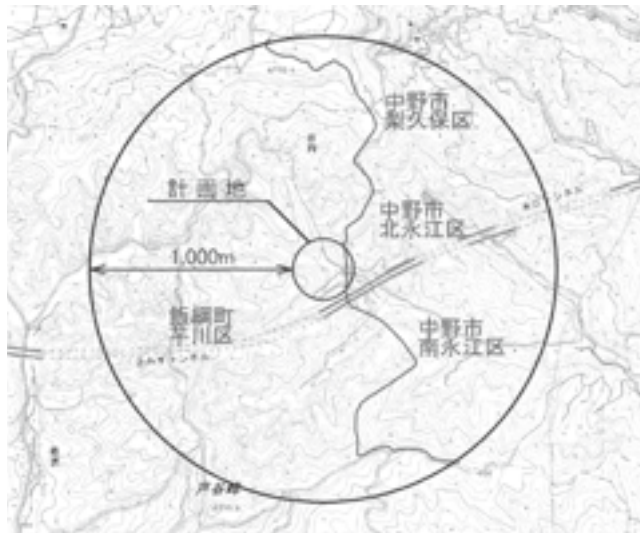
**渡邊** 芋川日向地籍への産廃処分場計画は、平成4年頃からたびたび取りざたされてきた。その都度水資源や自然環境を守る見地から、関係住民等の一貫した建設反対により計画は進まず断念させてきた。

しかし昨年の12月25日事業者より長野地域振興局へ処分場建設の「事業計画概要書」が提出され受理されている。

建設計画は、新たな段階と思うが、町長の見解は。



渡邊 千賀雄議員



▲事業者が提出した「事業計画概要書」による位置図

見書」とされている。町長には

これまでの経緯を踏まえ、明確に、受け入れ反対の意思を表明し、対応を。

**町長** 意見書は綿密なものを考えている。町として処分場の設置の必要性はない。

**水道事業の  
今後は**

**町長** 慎重に対応していく。好ましい場所ではない。

**渡邊** 今後県の「廃棄物の適正な処理の確保に関する条例」により判断されるが、これまで地元町村等の「同意書」が必要とされていたが、平成21年に改正、「意

### 一般質問

**渡邊** 昨年の12月水道事業を民営化するための「水道法」が改訂された。

運営権を民間事業者にゆだね、安全性、安定性、水道料金の値上げな

どが危惧され、水道の広域化も考えられる。

「市町村主体で、健全な運営を目指すべき」だ。

**町長** 安全な水を安定して供給することが自治体の責務だ。

**渡邊** 現在、水道は町で運営され、運営理念は「効率的に経営し、かつ福祉を増進させるが基本」。水道は福祉であり、生存権にかかわるもの。「改正水道法」の導入は自治体の判断とされるが、「導入すべきではない」と考えるが。

**町長** いろいろな知恵や工夫をしながら多面的、総合的に水道を考えていきたい。いろいろな意味で助言を。  
**渡邊** 福祉の立場に立った方針の下で水道行政を継続発展させる努力をすべきだ。

### 児童虐待問題は

**渡邊** 1月下旬に千葉県で痛ましい児童虐待死亡事件が発生した。国を挙げて児童虐待や、子どもの人権問題としても、対応に誤りのないように点検が求められる。

児童虐待の発覚、解消、対応・相談は的確に行われているか。

**教育次長** 国から緊急点検の通知がきたが、事案はなかった。児童虐待マニュアルがあり、ケースごとに対応している。

**渡邊** 児童相談所等、機関の体制に問題点はないか。  
**教育次長** 「要保護児童対策地域協議会」があり3段階で対応している。



▲「虐待点検」を報じる毎記事



# ネオニコチノイド系 農薬不使用の作物栽培を

## 町長 置き換えられれば検討したい



伊藤 まゆみ議員

### 一般質問

**伊藤** 最近多用されているネオニコチノイド系農薬（殺虫剤の一種）は、生態系や人体への影響が懸念されている。

欧米では使用禁止や規制が進む中、日本は残留基準を緩和し使用されている。

「日本一のりんごの町」

をめざす町として、ネオニコチノイド系農薬を不使用とし、農作物のブランド化に位置付けてはどうか。

**町長** 安全・安心は大事だが、今すぐ切り替えるのは難しい。

**伊藤** 不使用についてJATともにも研究、検討してほしい。

**町長** 他のものと置き換えられれば検討したい。

**伊藤** 人体への影響が不明。安全が確認されるまで、国に使用禁止を求めるべきと思う。

**町長** 現在は、考えていない。

### 「ユマニチュード」の普及を

**伊藤** フランスで生まれた「ユマニチュード」という

哲学と技法が注目されている。

介護や医療の現場では、導入されている技術だが、在宅介護では知られていない。普及する考えは。

**保健福祉課長** 「介護のつどい」で介護の技術を学ぶ場を持ちたい。介護連携の中でも家族の方へ話すなど、時をとらえて普及したい。

### ※「ユマニチュード」

「見る、話しかける、触れる、立つ」を組み合わせて行う技術で、認知症の方の不安や恐怖を取り除くことができ、複雑なほど効果があるとされる。

### 骨髄バンク登録に支援を

支援を

**伊藤** 10、20代で一番多いガンである白血病の治療に骨髄移植が有効だ。長野県は登録者が最下位。必要性を広く知らせ登録を勧める考えは。

**保健福祉課長** リーフやパンプを庁舎、健康管理センター、町民会館に設置。申込書も置きたい。広報でも



▲今年も始まった農薬散布

周知したい。

**伊藤** 白血病の治療には、輸血が欠かせない。献血の呼びかけにも力を入れてほしい。

**保健福祉課長** 年2回巡回で行っているが、協力者は年々減少。一層広報し啓発したい。

**伊藤** 「命の学習」の中で

献血や骨髄バンクについて学ぶことはできないか。**教育次長** 学校、PTAと話し合いたい。

**伊藤** 骨髄の提供には、一定の期間入院が必要。助成制度が必要と考えるが、

**町長** 県にも制度があるが、検討はしたい。

# 人口増

## 町独自の対策を

### 町長 住宅整備、就業場所確保等を進める

#### 人口減への対応策は

**清水** 過去5年間の人口増減は。

**町長** 死亡等の自然減で591人。転出等の社会減で232人。

**清水** 町として独自の人口増対策は。

**町長** 高校生まで医療費無料、インフルエンザ予防接種の補助等、福祉医療の充実を図ってきた。また、出産祝い、卒園・卒業祝い金、奨学金制度や、小中学校の教材費補助等、子育て支援



清水 均議員

策を講じてきた。今後、若者定住住宅の整備や、就業場所の確保等、総合的に整備を進めたい。

**清水** 移住体験住宅の利用状況は。

**企画課長** 30年度は利用日数53日、利用人数43名。共に前年数を上回っている。

28年度の貸出開始以来、利用者のうち4世帯、9名が移住している状況。

#### 直売所の運営方針は

**清水** 三本松農産物直売所について、現在ある3つの直売所の関係者との協議は進んでいるか。

**産業観光課長** 代表者と月1回、打合せをしながら話を詰めていきたい。組合員全員へも早急に説明会を開催したい。

**清水** それぞれの直売所にどのような特徴を持たせるか。

**産業観光課長** 直売所さんちゃんは高品質なりんごを主力とした店舗、横手直売所四季彩はりんごと野菜をバランス良く販売する全方位的な店舗、三本松直売所は普段使いの野菜や果物を購入できるような店舗として特徴付けを行う。

**清水** 年間を通しての地元農産物の確保は。

**町長** 冬期間の農産物の確保は厳しい状況。今後は、雪中野菜の販売や、餅など米加工品等、特色ある加工品の販売や、友好都市の農産物の販売等も検討していく。

**清水** 実証実験中のイチゴ等、収穫体験を進める考えは。また研究機関のある信州大学や県立大学との連携の考えはあるか。

**産業観光課長** 三本松の美しい景観を生かしながら、収穫体験等、買物だけでなく滞在型のビジネス展開の予定。今までは駐車場やトイレ、収穫体験の世話をする人が不足している問題があったが、今後は道の駅として計画しているので、設備面は整備される。また、観光協会の事務局の職員が常駐するので、お世話をすることができ。商品開発等、大学とも連携を進めていく。

#### 観光施設の利活用は

**清水** 天狗の館の入館者数は20年から29年にかけて20%ほど減少している。スキ

ー場経営者と協力してイベント開催をする等、町としての対策は。

**町長** 民間の知恵を生かした新しいサービスの展開を期待するが、町としては東高原全体のPRや公共交通の確保等で支援していく。

**清水** シルバー料金や夜間特別料金などの設定はできないか。

**町長** 指定管理者の対応になるが、機会があれば前向きなサービスの要望は出していく。

**清水** 霊仙寺湖周辺のテニスコートや総合グラウンドの整備の予定は。

**町長** 直営で着手する余裕は今のところない。



▲活発に利用されている移住体験住宅(野村上)



▲利用者数増への対策を(天狗の館)



## 公共施設のあり方

# 若い世代の意見聴取の機会を

## 町長 定期的に行う方法で進める



瀧野 良枝議員

一般質問

### 公共施設への町の方針を問う

**瀧野** 建設予定の施設について、町の方向性を住民と共有すべく次の観点から質問する。

施設名(答弁者)	①必要性	②機能性	③目指す方針
庁舎 (総務課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現庁舎の老朽化</li> <li>分庁方式での住民サービスの低下解消</li> <li>役場組織の一体感の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性の向上</li> <li>エレベーター、バリアフリー化</li> <li>ワンストップサービスの充実</li> <li>新エネルギーの一部導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心を確保した庁舎</li> <li>人に優しく、住民に親しまれる庁舎</li> <li>環境に配慮した庁舎</li> <li>町のシンボルとなる庁舎</li> </ul>
多世代交流施設 (企画課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉、健康増進の拠点作り</li> <li>若者と高齢者の交流促進</li> <li>定住・移住促進の拠点整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内の生活サービス機能のワンストップ化</li> <li>機能集約による公共交通の利便性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住み慣れた地域に住み続けられる町を目指した拠点整備</li> </ul>
子育て支援センター(教育次長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現子育て支援センターは町民会館を間借り状態で子ども向けの施設ではないため</li> <li>現ワークセンターはワークスペース、託児スペース、駐車場が狭いため</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援センターとワークセンター、子育て世代の包括支援機能の複合化</li> <li>ファミリーサポートセンター事業も実施し、子育てに関するワンストップサービスを展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て、親育ちの応援</li> <li>子育て中の保護者の就労支援</li> </ul>
若者定住住宅 (建設水道課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現町営住宅がほぼ満室で希望者からの問合せが多いため</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸建てでなく長屋風に建設し、建築費の削減に努める</li> <li>耐震性に優れた住宅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代対象の住宅整備</li> <li>若者の定住促進、人口増を目指す</li> </ul>

※ワンストップ…関連する全ての手続を1カ所で完了できるサービス



▲町民のアイデアで町の活性化を 「いいづな事業チャレンジ」

### 未来を担う若者との意見聴取の場を

**瀧野** 公共施設のあり方等について、若い世代の住民の意見聴取の機会を設ける考えはないか。

**町長** 年に1〜2回、定期的な場を設ける方向で進めたい。

**瀧野** 広報誌の発信のみでなく、若い世代に届きやすい媒体での情報発信や、インターネットでのアンケート機能等を活用し、効率的に情報収集を行う考えは。

**町長** 効果が高いと認識している。体制を整えていきたい。

他にも：財源確保の方策としての職員提案型予算削減制度等について質問しました。



# 新しい町づくりへ 私の提案

第14回

勇気を出して共に町づくりを



焔佳那子さん  
(倉井)

今では町の行事に参加している私ですが、5年前までは「こんな田舎いやだ」と思っていました。参加のきっかけは単純で兄に誘われたからです。扉を開けてみると、活動されている方は、学生、ご家庭を持たれていたり、土・日もなく働くバリバリの仕事人ばかり。中には住む場所が遠いのにわざわざ飯綱町に足を運んだり、皆それぞれ忙しい中活動していることを知りました。大変なことでもあると思いますが、横のつながりができ、互いに助け合うこともできる素晴らしい場だと思えます。…とは言っても新しく参加する若者が少ない。そんな状況です。地域の文化を守るためには男女は関係ないです。きっかけは何でも良いと思います。勇気を出して共に町づくりをしましょう。将来「あんなこと、こんなことあったね」と語れる材料になると思います。

## スポーツによる町づくり



仲侯 一樹さん  
(西黒川)

飯綱町は、スポーツ施設や条件が揃っていて、この近辺では自慢のできる我が故郷だと思います。報道によると、旧西小学校のグラウンドが本格的なサッカー場になるようです。そして、いろいろなゾートスキー場が存続することになり、東高原にはいくつかのスポーツ施設があります。また、この小さな町に3つのゴルフ場があるのは誇りであります。僕はリゾートスキー場のおかげもあり大学4年生になり、僕の提案としてこれらの施設を積極的に活かすため、県内外にPRし町外から若者を呼び寄せ、「飯綱町はスポーツの町」であるとアピールしてはどうかと常日頃思っています。若者が集まる町、それはスポーツです。

## 公共交通の充実を



森山 喜代美さん  
(北川)

飯綱町に転居して15年になります。美味しい農産物、豊かな自然を思う存分享受しています。が、一番の魅力は都会にすぐ近い田舎だという事と思っています。30分そこで長野駅に行け、さらにその先には東京、名古屋、金沢、さらに関西方面とアクセスがとても良いです。ここでも残念なのが、車以外の交通手段に恵まれない事です。都会では、公共交通が充実し何処へでも出掛けられます。せめてバスでも路線バスでも、1時間に1本くらいあれば何処へでも出掛けられるようになります。町内での各種イベントや講演会も「〇時のバスでお越しください」などというのがあれば気楽に参加できると思います。

# ターアンケートにお答えします

## 十分な議論がされているか

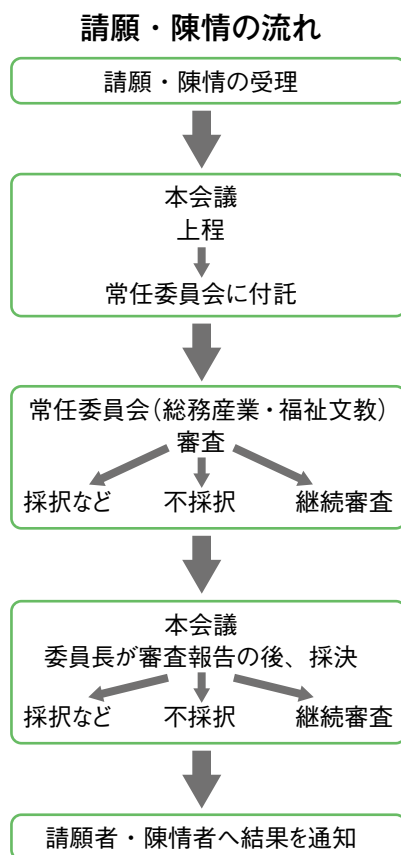
**Q**

請願第3号が不採択になっているが、3名の賛成討論のみ掲載されていることに疑問を持つ。不採択なら、その理由を公にすべきではないか。反対討論がないまま、多数決で採択されたとしたら、議会のあり方そのものに、問題を感じる。

**A**

請願や陳情は議会から常任委員会に付託され、十分な審査（質疑、討論、採択）を行ったうえで、委員長が議長に審査結果（報告書）を報告します。本会議での審査はこの報告を基に行われますが、この場合、当該報告に賛成の者から改めでの発言は少なく、当該報告内容に反対の者の発言が多くなります。討論は全て掲載するようにしています。

なお、委員会での審査内容は町ホームページの議会事務局内会議録をご覧ください。  
今後は、ご指摘の疑問が生じないように、委員会での審査内容も「議会だより」に掲載します。



モニターアンケート

## 議員は町の答弁に納得できたか

**Q**

議員からの意見について、町長、課長の答弁がありました。議員はそれで納得できたのでしょうか。もう少し意見交換の場が欲しい。知りたい。

**A**

質疑については、紙面の都合上、一部の掲載となっています。質疑のすべてを知りたい場合は、議会事務局への問合せのほか、町ホームページでの会議録やYouTubeで議会質疑の模様をご覧ください。ありがとうございます。

**Q**

議会で議論、討論されたもので、「検討していく」、「参考にしていく」となったものの、その後はどうなっているのか。

**A**

一般質問に対しては、町が、年2回、その後の進捗状況（対応内容・結果、今後の見直しなど）を、「議会一般質問答弁の進捗状況」にまとめ、議会に報告し、議会はその内容を精査しています。また、議会だより「あの時のあの質問どうなった?」で紹介しています。今後も、この方法を継続していきます。

# 議会だより第53号(12月定例会)七二

## 積極的な政策提言を

**Q** 議員はアイデア(具体的新事業)を提出し、議員案件として議論し、議員の総意として1~4年に一つは実行するという意思が必要です。でなければ単に行政の監視役にすぎなくなります。

**A** ご意見のとおり、町議会基本条例で議会の活動原則の一つに、「町民の多様な意見、要望の把握に努め、政策立案、提言、条例提案等を積極的に進めること」が定められています。

議会はこの点に力点を置き、一般質問においては、提案型質問を多くの議員がしています。また、サポーター会議の開催などを通じて条例の制定を目指す努力をしています。このほか、9月には、予算と施策の要望書を町長に提出しています。今後この姿勢を忘れず、議会活動を行っていきます。

## 議員個人の会誌等、負担では

**Q** 多くの議員は本人の議会活動状況について、定期的に会誌等を発行し、地元町民に配布している。日々の仕事や活動で多忙の中、発行までには相当のご苦労があると思う。ここまでやらなくては議員になれないのか：なり手不足の一因とも思える。申し合わせでこれを取りやめられないか。その代わり、現在の「議会だより」を充実したものにしたらどうか。

**A** 議員個人が発行する会誌等は、議員個人の考え方を住民の皆さんに知っていただくために行っている議員活動の一つで、このような活動を議会で制限することはできません。現在、会誌等の発行を行っている議員は15名のうち、6名程ですが、他の議員においても別の方法で議員としての活動を行っています。

**Q** 定例会議案に対する各議員の採決結果の件、○議員の欠とはどういうことですか？定例会の会期中は出席して、議決の時だけ退場したのですか？

**A** 当該議員は、議会議規則に定める欠席事由に該当したため、やむを得ず当日議会を欠席したものです。

なお、議会に出席しているものの、何らかの理由により採決に参加せず退席する場合は、当該表への表示を、従来、「退」と表示しています。

### 会議録の閲覧方法

【町ホームページ】  
↓  
【飯綱町議会情報】  
↓  
【議会事務局】  
↓  
【会議録】



▲町ホームページ画面



飯綱町町民講座

# スイーツによる 地域活性化

2月27日、鎧塚俊彦氏（パティシエ）を講師に迎えた町民講座。町内外から約220名の参加者が町民会館に集い、鎧塚氏の熱いメッセージに耳を傾けた。

講演では、地域の活性化には、地元住民の知恵と力を使って、まず動くことが大事であると語られた。

鎧塚氏は県産食材の良さを伝える県任命の「おいしいふーど大使」を務めており、17年には当町で行われ

た「いいびなりんご並木フエスタ」で地元産りんごを使った料理コンテストの審査委員長を務めていただいている。

『日本一のりんごの町』を目指す当町で、各店舗の特徴あるアップルパイや、りんごを練りこんだ蕎麦などの商品開発のアイデアも語られた。



## 54号表紙説明

「あっ!!あっ!!」  
クラスの編成表を前に賑やかな声が響く飯綱中学校入学式当日。



## 議会議だよりモニター 生の声 ⑮

大切なモニターの  
役割を自覚!



石川 武さん  
(福井)

町には50集落あるが、議員（15名）の出身集落は10集落（2割）と聞く。議員は出身集落のみでなく、町全体を代表しており、各議員の活動が町全体を対象としていることは言うまでも

ないが、町民からすれば身近に議員がいて、いつでも意見などを聞いてもらえる環境が良いと思う。このような状況において、議会報モニターはできる限り議員のいない集落から選んでおり、広く町民の生の意見等を聞くことが目的と聞いている。

また、議会報の発行時やアンケートの回収時に直接議員がモニターと会うことは、その場で議会の話題に話が進むことも目的としているとのこと。そうであれば、その趣旨に沿うようモニターとしての役割を今後もしっかりと果たしたいと思う。

### 6月定例会予定

6月3日～19日（17日間）  
一般質問  
5日（水）・6日（木）  
常任委員会  
10日（月）・11日（火）

### 編集後記

平成最後の議会で、新庁舎の建設等を内容とした大型予算が成立した。

新時代に相応しい行政が望まれるとともに、議会も時代の変化に対応した運営を行っていく必要がある。分かりやすく、皆さんに読んでいただける議会報となるよう努めたい。

### 編集委員

発行委員長	清水 満
副委員長	清水 均
委員	瀧野 良枝
委員	風間 行男
委員	伊藤まゆみ
委員	青山 弘
委員	樋口 功